



# ボッチャ競技 指宿で開催



定期シリーズ

令和5年(2023)10月に県で開催される「特別全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)」の正式競技として「ボッチャ(身体障害者)」が新たに追加され、その会場が、指宿総合体育館に決定しました。

## ボッチャってどんなスポーツ?

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。カーリングのように、相手のボールをはじいて自分が優位に立てるよう位置取りをしますが、ジャックボール(目標球)もはじいて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略や魅力のある競技です。

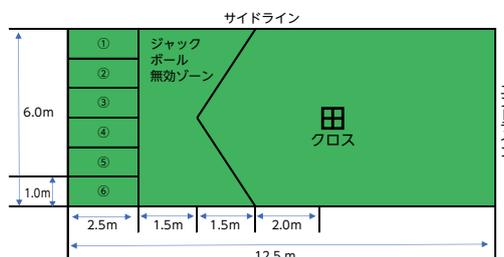
ボッチャは、重度の脳性まひ者や同程度の重度障害が四肢にある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツで、昭和59年(1984)からパラリンピックの正式競技となり、男女の区別はなく、障害の程度でクラス分けされ順位を競います。

見た目には激しい運動はありませんが、知的な戦略と実行するための技術力、集中力が求められます。

### ▶公式競技用のコート/12.5m×6m

※選手は、2.5m×1mのスローイングボックス内でプレー。

個人戦はボックス③④(③が赤、④が青のボール)、ペア戦ではボックス②~⑤(②④が赤、③⑤が青のボール)、チーム戦ではボックス①~⑥(①③⑤が赤、②④⑥が青のボール)を使用します。



白(ジャックボール)、赤、青のボール



投げられない選手が使用する勾配具(ランプ)



## 競技の魅力

- ①障害の有無に関わらず、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツ。
- ②トップレベルのアスリートになるとレクリエーションとは一戦を画す競技力。
- ③たゆまぬ努力の果てに身につけた何手も先を読んだ戦略、針の穴を通すような投球。
- ④誰もがスポーツを楽しむことができるという障害者スポーツの理念を体現。

ボッチャの魅力は、今後も引き続きお知らせします。



白いボールに自分のボールをどれだけ多く近づけるかを競います。



ボールは上から投げてでも下から投げてでも構いません。手で投げられない選手は足を使って蹴ることもできます。

「かんたんボッチャガイド」(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会発行)より引用



市実行委員会ホームページ

☎燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会  
指宿市実行委員会事務局  
(ふれあいプラザなのはな館内)  
☎③1014